

「キャンプ安全の日」

7/16

CamPing Safety 2023

全国一斉キャンペーン 7/1～8/31

アウトドアアーツを安全に楽しむための執筆活動中

今年も夏はキャンプシーズンがやってきます。新型コロナウィルス感染症は依然として脅威ですが、夏休み中のキャンプ活動も再開されています。キャンプは自然の中で楽しむだけでなく、自然環境の保全や地域活性化の役割も果たしています。安全なキャンプ活動を通じて、自然環境の保全や地域活性化の役割も果たしています。

Episode1: キャンプで具合が悪くなった時

▲「朝起きたら熱がある」「ぜんそくの発作なのかな?」「熱はないのに元気がなくてぐっすり眠れない」。キャンプはいつもと異なる環境や気候の影響で、体調を崩してしまうことが多くあります。子どもをすぐに病院に連れていくか? 救急車を呼ぶか? 発見は遅い? or なし? 特製のポイントについて解説します。



Episode2: 法的な視点からの事故分析

▲2010年7月、秋賀県伊万里市内でキャンプに参加していた当時小学3年生の子が川で溺れ死亡するという痛ましい事故が起こりました。本事故では、キャンプ運営者の計5名が業務上過失致死罪で起訴され、一審では1名3名が有罪判決を受けました(その後、控訴審で無罪)。

悲しい事故を防ぐために、キャンプに関わる全ての人にとって、過去の事例や事故の安全に関する適切な準備を行うことは大変重要です。今回は、実際の裁判の中で本事故がどのように分析されたのか、法的な視点から解説します。



Episode3: 思わぬケガにご用心!

▲この夏、コロナ禍を控えていた活動が再開する目撃者も多いと思います。キャンプが復活していくことはとても嬉しいことですが、同時に大きな事故やケガのリスクが考えられる可能性もあります。特に最近では、以前以上にしっかりと事故や思わぬケガが起きているという声が上がっています。

久しぶりにキャンプを控える際、一体どのような点に気を付ければよいのでしょうか?



ncaj@camping.or.jp
